

木質バイオマス利用量について

第3期産業振興計画における木質バイオマス利用量の目標と実績

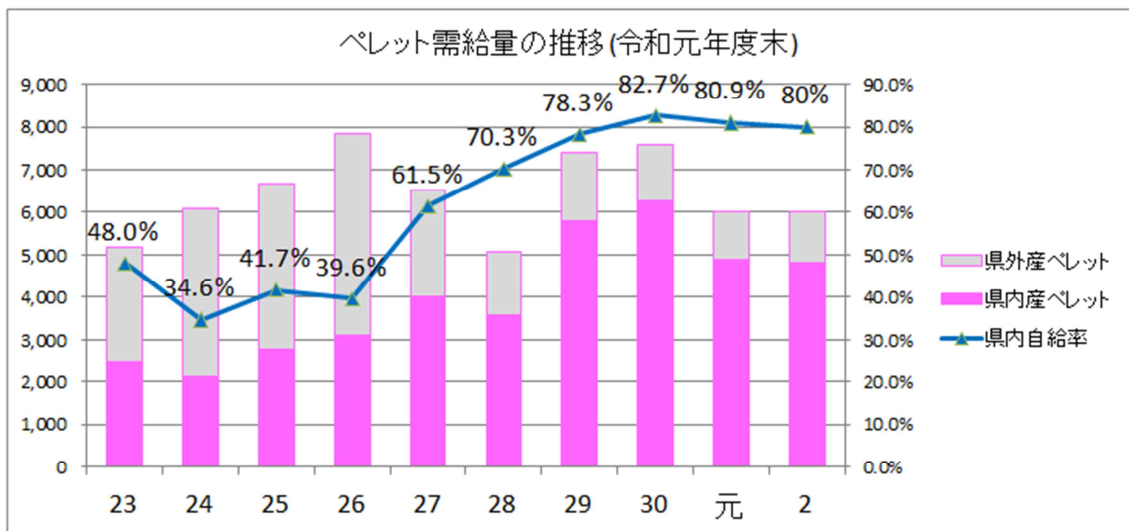
単位：万トン

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
目標			49.6	54.4	56.5	57.3
実績	35.6	36.3	40.5	41.2	43.8	42.9

ペレット需給量の推移（令和元年度末現在）

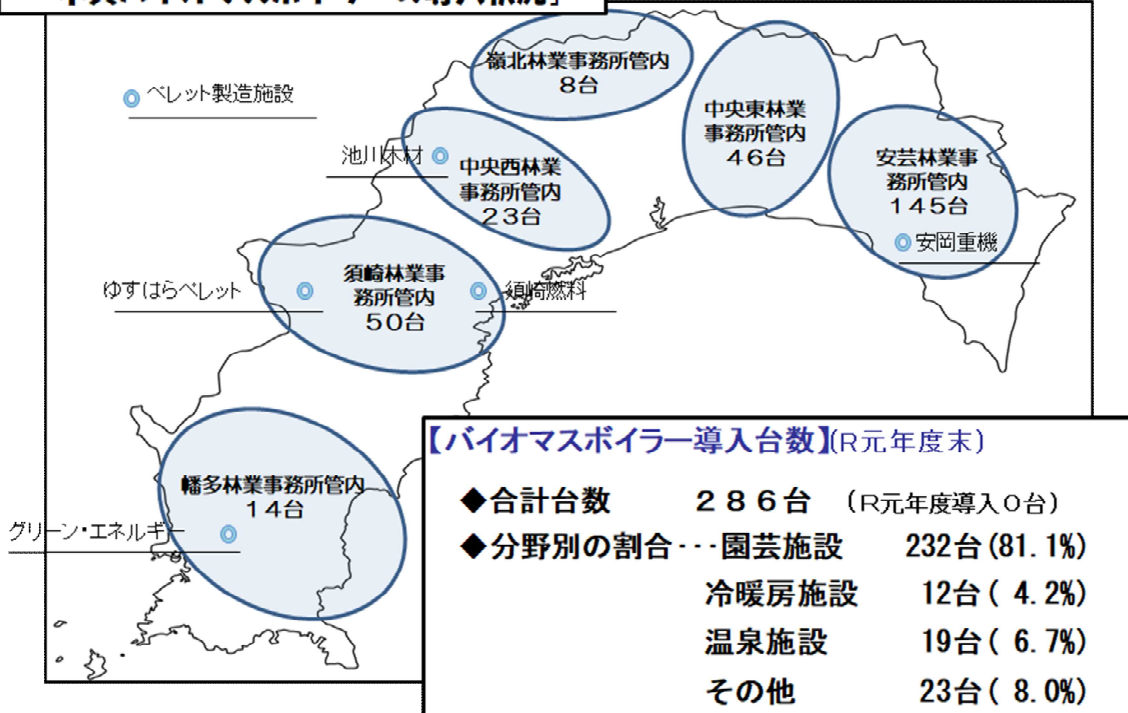
(t)

	年度									
	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2見込
ペレット需要量 (内訳)	5,196	6,085	6,671	7,836	6,522	5,084	7,406	7,604	6,028	6,000
県内産ペレット	2,493	2,107	2,783	3,105	4,011	3,575	5,799	6,286	4,877	4,800
県外産ペレット	2,703	3,978	3,888	4,731	2,511	1,509	1,607	1,318	1,151	1,200
県内自給率	48.0%	34.6%	41.7%	39.6%	61.5%	70.3%	78.3%	82.7%	80.9%	80%



木質バイオマス熱利用の取組

「木質バイオマスボイラーの導入状況」



木質バイオマス熱利用の取組

「高知県内の木質バイオマスボイラー導入効果試算」

◆ 木質バイオマスボイラー導入台数(R元年度末)・・・286台

種類	導入台数(台)	燃料使用量(t/年)	原木換算(m ³ /年)	燃料含水率
ペレットボイラー	259	9,426	23,565	WB10%
チップボイラー	3	2,911	4,949	WB60%
おが粉ボイラー	12	1,856	4,640	WB10%
薪ボイラー	12	771	1,311	WB60%
計	286	14,964	34,465	

◆ 木質バイオマス燃料発熱量 約44,700Gcal/年

◆ 重油換算(削減量) 約6,369kL/年 **約5億円/年←燃料代の域外流出抑止額**

※重油単価:80円/Lで算出

◆ CO₂削減量 約17,260t-CO₂/年 約9千5百万円/年CO₂削減効果

※二酸化炭素に関する原単位:5,500円/t-CO₂ ※林野庁事業評価参考単価表(平成28年度版)

約3,275世帯分(約5,270kgCO₂/世帯 ※全国地球温暖化防止活動推進センター 2012)